

令和 8 年 7 月 1 日
総合政策局海外プロジェクト推進課

2026 年度 海外インフラ展開人材養成プログラム 募集開始！ ～インフラ海外事業の実務的研修～

国土交通省が後援する、海外インフラ展開人材養成プログラムが 10 月に開催されますので、受講生を募集します。

本プログラムは一般社団法人 国際建設技術協会が主催し、産学官協働の「海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会」の運営で行われるものです。

1. プログラムの目的

海外において、鉄道や道路などの交通事業や上下水道等のインフラプロジェクトを担う建設（開発）コンサルタント、コントラクター、メーカー、事業者、官公庁等の技術系・事務系の人材を対象として、経験豊富な実務経験者や学識者等が講師となり、世界各国のプロジェクトの現場で活躍できる基礎的能力を備えた人材を育成することを目的としています。

2. 実施期間・方式

2026 年 10 月 14 日（水）～10 月 16 日（金）及び 10 月 19 日（月）～10 月 21 日（水）

※全て集合・対面方式で実施

3. 受講生について

（1）対象者：

建設（開発）コンサルタント、コントラクター、メーカー、事業者、官公庁等の技術系・事務系の実務経験のある職員で今後海外インフラ事業に関する業務を担当する予定の者

※海外経験は不問ですが、概ね 5 年程度以上の実務経験を有する方が望ましい。

（2）受講人数：50 人

（3）プログラム：別紙をご確認ください。

4. 募集期間

募集期間：2026 年 7 月 1 日（水）～7 月 31 日（金）

募集要領及び申込は以下の一般社団法人 国際建設技術協会 WEB サイトを参照。

<https://www.idi.or.jp/2026kaigaiinfratenkaijinzaiyoseiprogram/>

【問合せ先】

総合政策局海外プロジェクト推進課 企画専門官 佐伯、係長 松尾
代表：03-5253-8111（内線25803、25819）、直通：03-5253-8315



2026年度「海外インフラ展開人材養成プログラム」 ～全て対面方式で実施予定～

プログラム設置の背景

我が国の人口減少・少子高齢化に伴い、国内のインフラ整備需要が縮小していくことが懸念される一方、海外においては新興国を中心に膨大なインフラ需要があり、これを取り込むことは我が国の持続的な経済成長に欠かせません。

今後、海外市場に進出するにあたっては、競争力のある技術等に加え、海外展開業務に必要な特有の知見を有する人材の確保が不可欠ですが、我が国企業の多くは、国内市場を前提として人材に従事させてきたため、海外で従事させ得る人材の確保は必ずしも十分とは言えず、人材の養成が急務となっています。

このような背景を踏まえ、海外インフラ展開に関わる産官学が連携し、令和元年より毎年、本プログラムを開催しており、今回が第8回の開催となります。

プログラムの概要

海外において、鉄道や道路などの交通事業や上下水道等のインフラプロジェクトを担う建設（開発）コンサルタント、コントラクター、メーカー、事業者、官公庁等の技術系・事務系の人材を対象として、経験豊富な実務経験者や学識者等が講師となり、世界各国のプロジェクトの現場で活躍できる基礎的能力を備えた人材を育成します。

1 目標

- ①海外インフラ展開に必要な基礎知識を身につける。
- ②実践的な演習を通じた課題解決スキルを習得する。
- ③俯瞰的で広い視点獲得の素地を涵養する。
- ④業種を超えた人的ネットワークを構築する。

2 実施体制等

(1) 主催

一般社団法人 国際建設技術協会

(2) 監理運営

海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会

(3) 後援団体等（調整中）

ア 後援団体

- ① 国土交通省
- ② 国立大学法人 東京大学 大学院工学系研究科
- ③ 国立大学法人 政策研究大学院大学

イ 協力団体

- ① 公益社団法人 土木学会
- ② 一般社団法人 計画・交通研究会
- ③ 一般社団法人 海外建設協会
- ④ 一般社団法人 海外コンサルタンツ協会

3 対象者等

建設（開発）コンサルタント、コントラクター、メーカー、事業者、官公庁等の技術系・事務系の実務経験※のある職員で今後海外インフラ事業に関する業務を担当する予定の者
※：海外経験は不問ですが、概ね5年以上の実務経験を有する方が望ましいです。

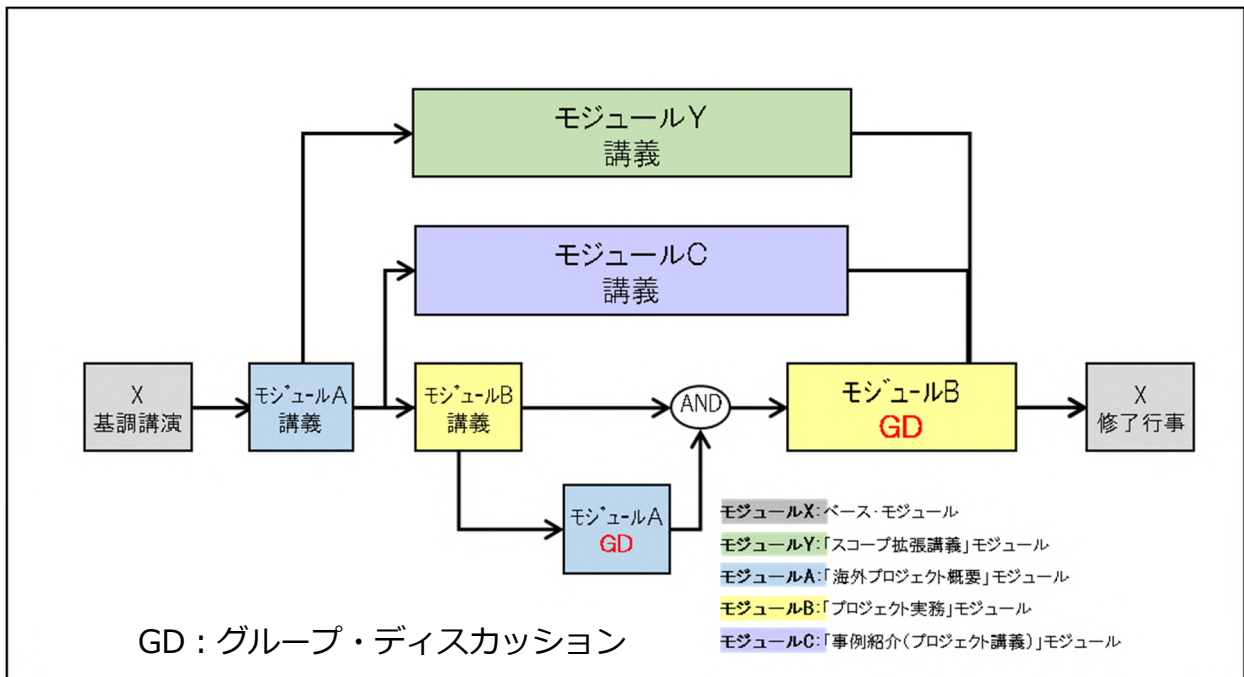
4 プログラムの構成

(1) 多岐にわたる講義を「モジュール」として整理し、海外インフラ業務に係る基礎的事項を網羅するとともに、それぞれの講義の位置づけ、関連を明確化しています。

また、各モジュールに経験豊富なコーディネーターを配置し、講義内容の整合を図っています。

| モジュール名 | 概要 |
|---------------|-----------------------|
| X「ベース」 | 研修の意義、位置づけの教示及びセレモニー |
| Y「スコープ拡張講義」 | 研修生の俯瞰力の大幅な増強の糸口となる講義 |
| A「海外プロジェクト概要」 | 海外インフラプロジェクトの概要の理解 |
| B「プロジェクト実施」 | プロジェクトの各段階における実務の理解 |
| C「事例紹介」 | 海外プロジェクトの事例紹介 |

(2) 知識の獲得から実践的演習によるスキルの習得までを円滑に行えるように、プログラム・フローを整備しました。



参考：2025年度の研修実施風景



(3) 講義等一覧

| モジュール | 講義名 | 担当企業等 | 講師 | 対面/ オンライン | 形態 | 配当時間 | |
|---|---------------------------------------|-----------------------------|---------|--------------|-----|------|-----|
| | | | | | | ビデオ | 対面 |
| X: ベース(行事等) | | | | | | | |
| X1 | 開講式、オリエンテーション等 | 事務局 | — | 対面 | L | — | 30 |
| X2 | 特別講義 | 東日本旅客鉄道 | 熊本 義寛 | 対面 | L | — | 70 |
| X3 | 成果報告会準備等 | 事務局 | — | 対面 | — | — | 30 |
| X4 | 修了式等(懇親会含む) | 事務局 | — | 対面 | L | — | 100 |
| Y: スコープ拡張講義 | | | | | | | |
| Y1 | 視野の拡張と自己相対視 | 政策研究大学院大学 | 家田 仁 | 対面 | L | — | 60 |
| Y2 | 地域をどう理解するか 国際関係論からのアプローチ | 政策研究大学院大学 | 高木 佑輔 | 対面 | L | — | 60 |
| Y3 | 比較宗教の観点から世界を見る | 東京大学 | 藤原 聖子 | 対面 | L | — | 60 |
| Y4 | 法とは何か～歴史的観点からの国際比較～ | 西村あさひ法律事務所 ・外国法共同事業 | 梅林 啓 | 対面 | L | — | 60 |
| Y5 | 論理的思考とは何か—論理の型と文化の型— | 名古屋大学大学院 | 渡邊 雅子 | オンライン | L | — | 60 |
| A: 海外プロジェクト概要 | | | | | | | |
| A1: 海外インフラ展開一般 | | | | | | | |
| A11 | 国際プロジェクト論 | 政策研究大学院大学 | 小澤 一雅 | 対面 | L | — | 70 |
| A12 | インフラシステム海外展開 | 国土交通省 | 福島 広志 | 対面 | L | 60 | 30 |
| A13 | JICAによるODA事業概観 | 国際協力機構 | 北村 浩一 | 対面 | L | 60 | 30 |
| A14 | インフラプロジェクトの概要 | 日本工営 | 秋山 成央 | 対面 | L | — | 70 |
| A2: 案件形成、プロジェクト・サイクル | | | | | | | |
| A21 | プロジェクト組成・案件形成 | 日本工営 | 菱田 のぞみ | 対面 | L | 60 | 230 |
| A22 | プロジェクト組成・案件形成 | 日本工営 | 菱田 のぞみ | 対面 | GD | | |
| B: プロジェクト実施 | | | | | | | |
| B1: ファイナンス | | | | | | | |
| B11 | 事業費積算、財務・経済分析 | 八千代エンジニアリング | 山内 康弘 | 対面 | L | 60 | 200 |
| B12 | 事業費積算、財務・経済分析 | 八千代エンジニアリング | 山内 康弘 | 対面 | L/E | | |
| B13 | 海外インフラプロジェクトに対するファイナンス | 土木学会インフラファイナンス 研究小委員会委員長 | 安間 匡明 | 対面 | L | 60 | 60 |
| B2: 契約 | | | | | | | |
| B21 | 契約概論 | 八千代エンジニアリング | 増田 薫 | オンライン | L | — | 60 |
| B3: 実行段階(マネジメント) | | | | | | | |
| B31 | プロジェクトマネジメント概論 | 日本工営 | 大塚 恵哉 | 対面 | L | — | 60 |
| B32 | 海外プロジェクト実務概論 | 鹿島建設 | 武田 秀幸 | 対面 | L | — | 60 |
| B33 | 三者関係のケーススタディ | 日本工営 | 亀谷 孝 | 対面 | CS | — | 260 |
| B34 | 契約(クレーム、EOT、Variation等) | オリエンタルコンサルタンツグローバル | 星 弘美 | 対面 | CS | 60 | 260 |
| B35 | 指揮(リーダーシップ)について～自衛隊を例にとり～ | 国際建設技術協会 | 丸山 真人 | 対面 | L | — | 60 |
| B4: リスク対応 | | | | | | | |
| B41 | リスクマネジメント概要 | (元鹿島建設) | 大西 一宏 | 対面 | L | — | 50 |
| B42 | ケーススタディ～東南アジア某国の事例～ | 大林組 | 神村 英明 | 対面 | L | — | 60 |
| B43 | リスクマネジメント(ディスカッション) | (元鹿島建設) | 大西 一宏 | 対面 | GD | — | 250 |
| C: 事例紹介(プロジェクト講義) | | | | | | | |
| C1 | インドネシア・ジャカルタMRT O&M支援 | 日本コンサルタンツ | 宇都宮 真理子 | 対面 | L | — | 60 |
| C2 | モンゴル・新ウランバートル国際空港プロジェクト～建設、技術協力から運営へ～ | 成田国際空港 | 鶴ノ澤 俊也 | 対面 | L | — | 60 |
| C3 | インド建設プロジェクトの現状～インドメトロ事業を例に～ | オリエンタルコンサルタンツグローバル | 阿部 玲子 | 対面 | L | — | 60 |
| C4 | 海外インフラPPP事業者のリスクマネジメント | 二宮技術士事務所 | 二宮 孝夫 | 対面 | L | — | 110 |
| 形態 L: 講義 E: 演習 GD: グループ・ディスカッション CS: ケース・スタディ | | | | | | | |